

平成 26 年 12 月 18 日

各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

「橋の新設・維持管理設計法」社内講演会の開催について ～今後、国内の道路橋設計、維持管理で本格導入が期待される新しい設計法～

我が国の社会資本ストックは、高度経済成長時代を中心に集中的に整備されており、今後急速に老朽化することが懸念されるとともに、社会資本整備そのものも国際的にみて大きく遅れているのが実状です。

そこで、株式会社オリエンタルコンサルタンツでは、社会資本の中でも、特に橋梁の新設、維持管理に着目し、長岡技術科学大学の長井正嗣名誉教授をお招きして講演会を開催しました。

【「橋の新設・維持管理設計法」社内講演会の概要】

長井正嗣名誉教授による講演会は2部構成で行いました。

第Ⅰ部では、新設設計で用いる設計法として、日本の道路橋設計基準でも導入が予想される性能照査設計法、限界状態設計法について、その概要や現行の許容応力度法との違いなど、欧米での動向や具体的な設計例を含めてご講演頂きました。

第Ⅱ部では、主に維持管理の設計法にスポットをあて、アメリカの維持管理設計の評価手法、手順などをご講演いただきました。また、過去の橋の重大事故、落橋を例に、その要因分析とこれを避けるための維持管理手法について、長井正嗣名誉教授のこれまでの研究成果、最新の知見や取り組みなどをご講演頂きました。

講演会には、橋梁関係の業務に従事する約 150 名の技術者が参加し、「橋の新設・維持管理設計法」に対する理解を深めると共に、今後の業務や研究開発等への活用方法などに関する質疑応答が行われました。

株式会社オリエンタルコンサルタンツでは、今後もより良い社会資本整備に向けて、学識経験者との協働、連携をはじめ、先進的な取り組みを展開していきます。

【長井正嗣名誉教授の講演会風景】



長井正嗣名誉教授の講演の様子



講演会場全体の様子

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <http://www.oriconsul.com/>

統括本部 三百田、伊藤

『橋の新設・維持管理設計法』に関する講演会

我が国の社会資本ストックは、高度経済成長時代を中心に集中的に整備されており、今後急速に老朽化することが懸念されるとともに、社会資本整備そのものも国際的にみて大きく遅れているのが実状です。

そこで、株式会社オリエンタルコンサルタンツでは、社会資本の中でも、特に橋梁の新設、維持管理に着目し、長岡技術科学大学の長井正嗣名誉教授をお招きし、ご講演いただきます。

日時：12月18日(木)15時00分～17時30分

会場：関東支店 2F会議室（インターネット中継あり）

講演：I部 ・性能照査設計法、限界状態設計法
と許容応力度法との違い

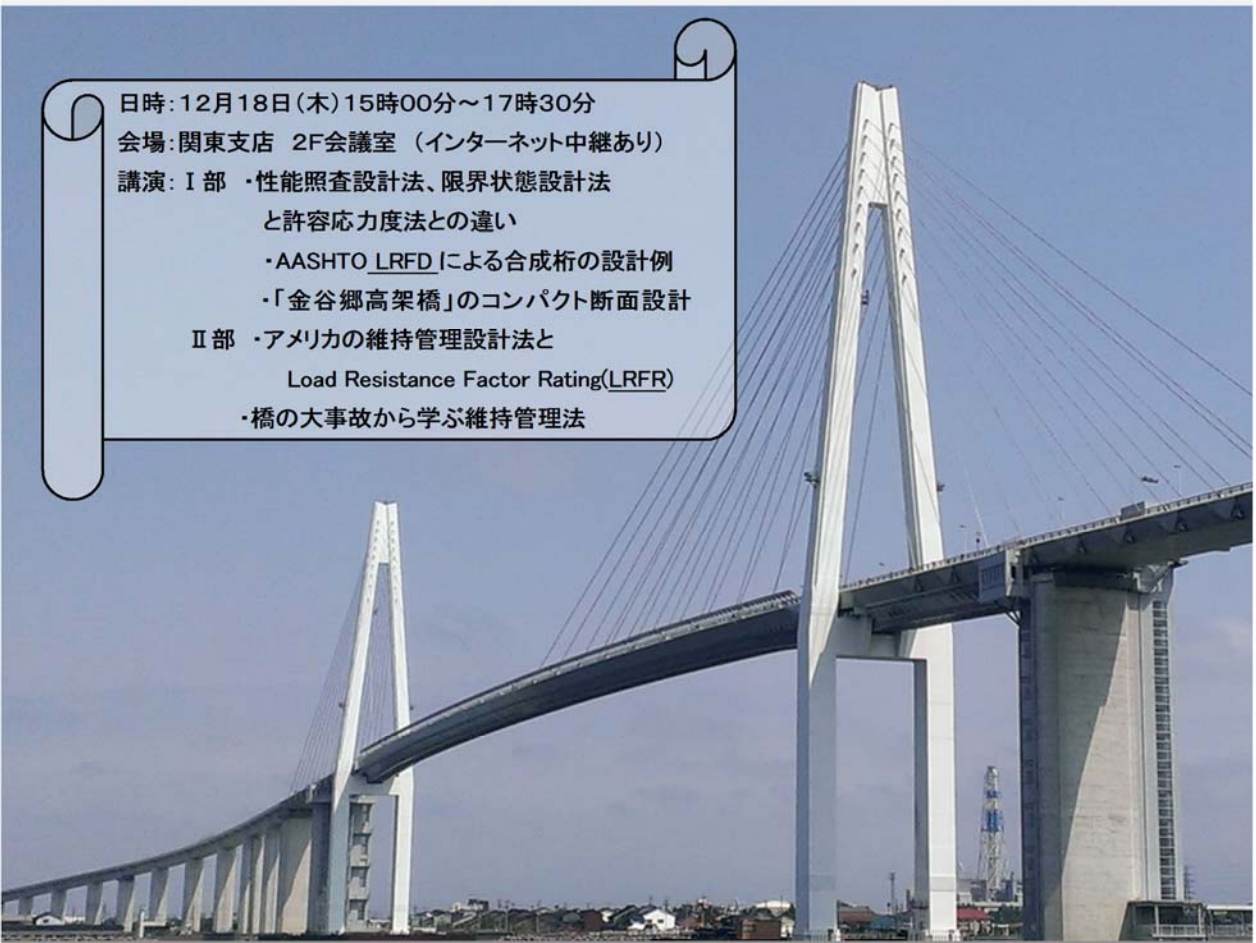
・AASHTO LRFDによる合成桁の設計例

・「金谷郷高架橋」のコンパクト断面設計

II部 ・アメリカの維持管理設計法と

Load Resistance Factor Rating(LRFR)

・橋の重大事故から学ぶ維持管理法



長井 正嗣 名誉教授

経歴

2013・ 長岡技術科学大学名誉教授

2013・ (株)ネクス東日本エンジニアリング技術アドバイザー

委員会

2012・ (社)日本鋼構造協会理事

2014・ (社)日本鋼構造協会業績表彰委員会委員長
他、橋梁PJの技術検討委員会（発注者主催）多数

専門領域

橋梁工学、構造工学